## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成29年11月14日

【四半期会計期間】 第49期第1四半期(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

【会社名】株式会社物語コーポレーション【英訳名】The Monogatari Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO・COO 加治 幸夫

【本店の所在の場所】 愛知県豊橋市西岩田五丁目7番地の11

【電話番号】 0532-63-8001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役・CFO・執行役員副社長 髙 津 徹 也

【最寄りの連絡場所】 愛知県豊橋市西岩田五丁目7番地の11

【電話番号】 0532-63-8001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役・CFO・執行役員副社長 髙 津 徹 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

# 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第48期 第49期 第 1 四半期 第 1 四半期 連結累計期間 連結累計期間		第48期	
会計期間		自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日	自平成28年7月1日 至平成29年6月30日	
売上高	(千円)	10,542,520	12,554,796	44,596,716	
経常利益	(千円)	586,318	1,104,341	3,056,038	
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(千円)	387,653	670,118	2,072,404	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	390,112	661,241	2,056,684	
純資産額	(千円)	11,831,339	13,767,236	13,309,306	
総資産額	(千円)	22,776,112	27,102,539	25,283,126	
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	64.57	111.52	345.11	
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	64.33	111.07	343.74	
自己資本比率	(%)	51.8	50.6	52.4	

<sup>(</sup>注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して おりません。

### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

<sup>2.</sup> 売上高には、消費税等は含まれておりません。

### 第2【事業の状況】

#### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載 した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

#### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続いているものの、個人消費の伸び悩み、不安定な東アジア諸国の政治情勢、米国新政権の政策に対する懸念等、世界経済の不確実性により先行きは依然として不透明な状況となっており、引き続き景気の足踏み状態が続きました。

外食業界におきましては、根強い節約志向から消費動向が滞っていることに加え、原材料費や人件費といった主要コストが高止まりしており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、既存店舗のリニューアル、新メニュー開発や期間限定商品の投入に加えて、商品の品質とサービスレベルの向上、販売促進活動など店舗の収益拡大に向けた施策により、各業態の開発、改善に努めて参りました。

また、郊外型中・小商圏タイプの新業態「きゃべとんラーメン」を開発し、2017年7月に愛知県豊橋市において1号店を開店しております。

新規出店につきましては、当社グループ全体で、国内につきましては、直営店6店舗、フランチャイズ店5店舗、海外につきましては1店舗の出店を実施した結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は436店舗(直営店228店舗、フランチャイズ店197店舗、海外11店舗)となりました(後掲表1)。

以上の結果により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は12,554,796千円(前年同期比19.0%増)の増収、営業利益989,063千円(前年同期比95.8%増)、経常利益1,104,341千円(前年同期比88.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は670,118千円(前年同期比72.8%増)となりました。

なお、当社グループにおいては、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。 当第1四半期連結累計期間における各部門の取り組み状況は、以下のとおりであります。

### 焼肉部門

「焼肉きんぐ」では、当第1四半期連結累計期間中に5店舗の出店(直営店2店、フランチャイズ店3店)を実施しました。これにより、焼肉部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は206店舗(直営店123店、フランチャイズ店83店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は6,696,068千円(前年同期比13.6%増)となりました。

#### ラーメン部門

「丸源ラーメン」では、当第1四半期連結累計期間中に2店舗の出店(直営店1店、フランチャイズ店1店)を実施し、新業態「きゃべとんラーメン」では、同累計期間中に1店舗の出店(直営店1店)を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は120店舗(直営店41店、フランチャイズ店79店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高1,500,166千円(前年同期比19.7%増)となりました。 お好み焼部門

お好み焼部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は43店舗(直営店21店、フランチャイズ店22店)であります。

以上の結果により、直営店の売上高は660,346千円(前年同期比2.2%増)となりました。 のず庵部門

「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」では、当第1四半期連結累計期間中に3店舗の出店(直営店2店、フランチャイズ店1店)を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は52店舗(直営店39店、フランチャイズ店13店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,962,898千円(前年同期比37.3%増)となりました。 専門店部門

専門店部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は4店舗(直営店4店)であります。

以上の結果により、直営店の売上高は222,610千円(前年同期比11.2%増)となりました。

### フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第1四半期連結累計期間中にフランチャイズ店5店舗の出店を実施しました。当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は197店舗となりました。

以上の結果により、売上高は926,972千円 (前年同期比13.4%増)となりました。 その他部門

主に連結子会社である物語(上海)企業管理有限公司による取組みであります。 売上高は585,733千円(前年同期比90.2%増)となりました。

#### 表1 「部門別店舗数の状況」

(単位:店)

	直営(国内)	FC(国内)	海外	平成29年9月末 店舗数
焼肉部門	123	83	-	206
ラーメン部門	41	79	-	120
お好み焼部門	21	22	-	43
ゆず庵部門	39	13	-	52
専門店部門	4	-	-	4
その他部門	-	-	11	11
合計	228	197	11	436

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

### (1)【株式の総数等】

### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)	
普通株式	9,000,000	
計	9,000,000	

### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月14日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	6,010,872	6,010,872	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	6,010,872	6,010,872		

- (注) 「提出日現在発行数」欄には、平成29年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により 発行された株式数は含まれておりません。
  - (2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。
  - (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。
  - (4)【ライツプランの内容】 該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成29年7月1日~ 平成29年9月30日 (注)	1,500	6,010,872	929	2,709,650	929	2,582,500

(注)新株予約権の行使による増加であります。

### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

### (7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

### 【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	株式数(株) 議決権の数(個)	
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,006,500	60,065	-
単元未満株式	普通株式 2,072	-	-
発行済株式総数	6,009,372	-	-
総株主の議決権	-	60,065	-

### 【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社物語コーポレーション	愛知県豊橋市西岩田五丁 目7番地の11	800	-	800	0.01
計	-	800	-	800	0.01

### 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

# (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

		(羊位・川丁)
	前連結会計年度 (平成29年 6 月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,450,362	5,484,236
売掛金	744,400	855,697
商品及び製品	265,398	265,224
原材料及び貯蔵品	59,240	59,124
その他	1,033,404	1,028,334
貸倒引当金	225	257
流動資産合計	6,552,581	7,692,361
固定資産	-	
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,144,519	12,513,606
その他(純額)	2,531,080	2,764,819
有形固定資産合計	14,675,600	15,278,425
無形固定資産	278,689	282,110
投資その他の資産		
差入保証金	3,284,622	3,352,656
その他	491,632	496,984
投資その他の資産合計	3,776,255	3,849,641
固定資産合計	18,730,544	19,410,178
資産合計	25,283,126	27,102,539
負債の部		, ,
流動負債		
金柱買	1,502,923	1,621,307
未払法人税等	600,641	384,953
株主優待引当金	22,718	36,242
賞与引当金	-	170,711
店舗閉鎖損失引当金	-	59,720
その他	3,847,187	4,216,013
流動負債合計	5,973,471	6,488,949
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,203,842	3,993,947
退職給付に係る負債	259,996	289,693
資産除去債務	321,723	337,387
その他	1,214,786	1,225,324
固定負債合計	6,000,348	6,846,352
負債合計	11,973,820	13,335,302
純資産の部	·	
株主資本		
資本金	2,708,720	2,709,650
資本剰余金	2,581,571	2,582,500
利益剰余金	7,977,787	8,437,606
自己株式	1,293	1,293
株主資本合計	13,266,786	13,728,464
その他の包括利益累計額	-	
その他有価証券評価差額金	2,814	3,081
為替換算調整勘定	3,387	2,453
退職給付に係る調整累計額	2,884	12,099
その他の包括利益累計額合計	2,312	6,564
新株予約権	40,207	45,336
純資産合計	13,309,306	13,767,236
負債純資産合計	25,283,126	27,102,539
> > (P C   P C P C P C P C P C P C P C P C P		2.,.02,000

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	10,542,520	12,554,796
売上原価	3,562,227	4,258,831
売上総利益	6,980,292	8,295,964
販売費及び一般管理費	6,475,336	7,306,901
営業利益	504,955	989,063
営業外収益		,
受取利息及び配当金	4,818	4,149
受取賃貸料	3,840	3,840
協賛金収入	97,641	100,660
為替差益	-	9,761
その他	4,706	12,329
営業外収益合計	111,006	130,741
営業外費用		
支払利息	7,586	6,502
為替差損	16,958	-
賃貸収入原価	2,414	2,372
その他	2,683	6,588
営業外費用合計	29,643	15,463
経常利益	586,318	1,104,341
特別損失		
固定資産除却損	11,376	1,596
減損損失	-	50,652
店舗閉鎖損失引当金繰入額	<del>_</del>	59,720
特別損失合計	11,376	111,969
税金等調整前四半期純利益	574,941	992,371
法人税等	187,288	322,252
四半期純利益	387,653	670,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	387,653	670,118

## 【四半期連結包括利益計算書】 【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

		<u> </u>
	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 7 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
四半期純利益	387,653	670,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359	267
為替換算調整勘定	3,105	5,841
退職給付に係る調整額	1,006	14,984
その他の包括利益合計	2,459	8,876
四半期包括利益	390,112	661,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,112	661,241

#### 【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計 適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

#### 1 保証債務

1717 12 2 3 3 3		
	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
加盟店の仕入先からの仕入債務の一部に 対する保証	517,132千円	556,615千円
	また、上記のほか加盟店 1 社の事業用定期建物賃貸借契約に対し、月額賃料1,000千円の債務保証を行っております。 なお、この事業用定期建物賃貸借契約の残余期間は、6年8ヶ月であります。	また、上記のほか加盟店1社 の事業用定期建物賃貸借契約に 対し、月額賃料1,000千円の債務 保証を行っております。 なお、この事業用定期建物賃 貸借契約の残余期間は、6年 5ヶ月であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結 累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

> 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

減価償却費 394,197千円 484,821千円

#### (株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

### 配当金支払額

(決議)	   株式の種類 	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	   効力発生日 	配当の原資
平成28年9月27日 定時株主総会	普通株式	180,100	30	平成28年 6 月30日	平成28年 9 月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

#### 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年9月26日 定時株主総会	普通株式	210,299	35	平成29年6月30日	平成29年 9 月27日	利益剰余金

### (セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日) 当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日) 当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	64円57銭	111円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	387,653	670,118
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	387,653	670,118
普通株式の期中平均株式数(株)	6,003,360	6,009,055
(2)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	64円33銭	111円07銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(株)	22,205	24,033
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

EDINET提出書類 株式会社物語コーポレーション(E03528) 四半期報告書

第二部【提出会社の保証会社等の情報】 該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月9日

株式会社物語コーポレーション

取締役会御中

# 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員業務執行社員

公認会計士 谷津 良明 印

指定有限責任社員業務執行社員

公認会計士 後藤泰彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社物語コーポレーションの平成29年7月1日から平成30年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結 財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社物語コーポレーション及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1.上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
  - 2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。